

仏師の世界

文化財修理にかける心



会場テーマ：愛荘町立歴史文化博物館「文化財修理に携わる仏師」・多賀町立博物館「木を刻む」

会期 平成30年 9月8日(土) ～ 10月14日(日)

企画協力／文化遺産プランニング

特別協力／公益財団法人美術院

協力／大滝山林組合 楽浪文化財修理所

後援／朝日新聞大津総局 京都新聞 産経新聞社 滋賀報知新聞社 中日新聞社 毎日新聞大津支局

読売新聞大津支局  大津放送局   湖放送

主催／愛荘町立歴史文化博物館 多賀町立博物館

わが国では古来、仏像を製作する職人は「仏師」と呼ばれてきました。飛鳥時代の鞍作止利に始まる仏師たちは、わが国に仏教が伝来して以来、数えきれないほどの仏像をこの世に作り出してきました。時が流れてそれらが次第に傷みを生じるようになると、新しく仏を作り出すことだけでなく、過去に刻まれた仏を修復することもまた、仏師にとって重要な仕事となりました。

本展では、昭和37年(1962)から平成17年(2005)までの43年にわたり美術院に在籍し、国宝・重要文化財の仏像修理の最前線で活躍した仏師・飯田雅彦氏が遺した文化財修理に関する日記やノート、習作、また鑿や鋸といった多岐にわたる道具や木材、実際に修理された文化財などを「文化財修理に携わる仏師」(愛荘会場)、「木を刻む」(多賀会場)の2テーマに分けて紹介します。これらを通して、仏師が何を考え、どのように修理に携わってきたのか、その姿を浮き彫りにすることで、仏師の仕事や役割、ひいては文化財修理へのさらなる理解につながることを期待してやみません。



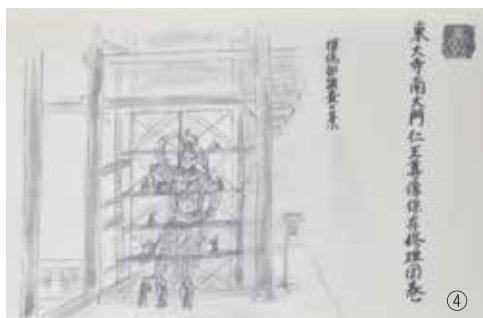
①



③



②



④



⑤

(写真)①鑿 ②鋸 ③手を彫る ④東大寺南大門仁王像保存修理図巻 ⑤修理作業の様子

主な出品作品

- ・道具類(鉋、鑿、鋸、彫刻刀、小道具、砥石など) 一括(愛荘・多賀)
- ・頂相(木取り、未完成) 2 軀分(愛荘)
- ・位記(東大寺権大仏師職) 1 通(愛荘)
- ・東大寺南大門仁王像保存修理図巻 1 巻(愛荘)
- ・丸太(スギ、ケヤキ、カヤ、クス) 4 点(多賀)

以上、飯田雅彦氏旧蔵品

- ・東大寺南大門金剛力士像(阿形)模造 1 軀 公益財団法人美術院所蔵(愛荘)
- ・滋賀県指定文化財 男神坐像 1 軀 栗東市・五百井神社所蔵(愛荘)
- ・構造模型(一木造、木取り) 1 軀分 滋賀県立琵琶湖文化館所蔵(多賀)
- ・構造模型(寄木造、完成) 1 軀 滋賀県教育委員会所蔵(多賀)

ほか

◆講演会◆

「文化財修理にける心ー仏師 飯田雅彦の足跡と想い出ー」

開催日 平成30年9月9日(日) 13:30 ~ 15:00

講 師 陰山 修 氏(公益財団法人美術院 所長)

場 所 多賀町立博物館 2 階大会議室

参加費 無料

定 員 50 名

◆ワークショップ◆

「木にふれよう」

開催日 平成30年9月17日(月・祝) 10:00 ~、14:00 ~

講 師 大滝山林組合ほか

場 所 多賀町立博物館 2 階大会議室

参加費 無料

定 員 各回20 名(要事前申し込み)

◆解説とワークショップ◆

「仏師の世界と仏像修理」

開催日 平成30年9月23日(日) 13:30 ~ 15:00

講 師 高橋 利明 氏(楽浪文化財修理所 所長)

井上 ひろ美 氏(インディペンデントキュレーター、文化遺産プランニング 代表)

場 所 愛荘町立歴史文化博物館 企画展示室

参加費 無料(要入館券)

定 員 50 名

愛荘町立歴史文化博物館

滋賀県愛知郡愛荘町松尾寺878番地 TEL0749 (37) 4500

開館時間 10:00~17:00(入館は16:30まで)

休館日 日・月・火曜日(祝日は開館)

入館料 一般300円(250円) 小・中学生150円(100円)

※() 内は20名以上の団体料金

無料入館日 10月6日(土)~8日(月・祝)

おかげさまで開館20周年

TAGA TOWN MUSEUM

多賀町立博物館

滋賀県犬上郡多賀町四手976-2 TEL0749 (48) 2077

開館時間 10:00~18:00(土曜、日曜・祝日は10:00~17:00)

休館日 9月10日、9月18日、9月25日、9月27日、10月1日、10月9日

入館料 企画展のみの見学は無料

ただし、常設展示室見学の場合、16歳以上200円(150円)

※() 内は20名以上の団体料金

